

講義名称	基礎演習Ⅱ	担当教員名	李 元重
科目群	必修 (REQ)		
科目区分等	基礎演習 CA4 DI2	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	REQ112

授業のキーワード	キリスト教、歴史、日本の社会と文化
授業の概要	論理的思考を深め、キリスト教と日本の歴史及び文化に関する著作と一緒に読み、議論します。特にレポートを書く能力を身につけます。
期待される学習成果 (目標)	1. 論理的思考力を磨き、自分の主張をレポート・論文として表現する。 2. キリスト教に対する理解と日本におけるキリスト教に対する理解を深める。 3. 近代日本の歴史に対する理解を深める。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の概要、進行方法、評価などについて説明します。
2	レポート・論文の書き方1	『大学生のためのレポート・論文の書き方』1章と2章を勉強します。
3	レポート・論文の書き方2	同書、3~5章を勉強します。
4	レポート・論文の書き方3	同書、6~7章を勉強します。
5	中間レポートの発表1	自分が書いたレポートを発表し話し合います。
6	キリスト教理解1	キリスト教のおいてのイエスを詳しく学びます。
7	キリスト教理解2	新約聖書「マルコによる福音書」を読んで話し合います。
8	キリスト教理解3	同上
9	キリスト教と日本1	日本におけるキリスト教に対する資料を読み、勉強します。
10	キリスト教と日本2	同上
11	中間レポートの発表2	書いたレポートを発表し話し合います。
12	歴史へのアプローチ1	『戦時期日本の精神史』第1回~第4回を読み、話し合います。
13	歴史へのアプローチ2	同書、第5回~第8回を読み、話し合います。
14	歴史へのアプローチ3	同書、第9回~第13回を読み、話し合います。
15	まとめ	学んだ内容を整理し、期末レポートについて話し合います。

定期試験	定期試験は行いません。
授業時間外学習	事前に課題の資料を読みます。発表者は発表の準備をします。自ら選んだテーマに対する資料を読みレポートを準備します。
評価方法	①授業への積極的な参加とミニレポート(50%), ②期末レポート(50%)
使用する教科書(必ず購入してください)	石井一成『大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社、2011年。鶴見俊輔『戦時期日本の精神史：1931~1945年』岩波書店、1982年。
参考文献	アリストター E. マクグラス著『総説キリスト教—はじめての人のためのキリスト教ガイド』キリスト教新聞社、2008年。嶺重淑『キリスト教入門：歴史・人物・文学』日本キリスト教団出版局、2011年。